ROOM MATE

CPRM（VRモード）対応

7インチツインモニターDVDプレーヤー
EB-RM707T

取扱説明書
保証書添付

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

●本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。
お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
●保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

製品の性能及び機能に関する変更におきましては個別にお知らせすることはありません。
実際の設定及び使用方法が本マニュアルに記載されているものと異なる場合があります。

<table>
<tr><td rowspan="2">電源を
入れる前に…</td><td>ディスク用のピックアップ保護カバーを取り外してください。
ディスクトレイを開けると中央部にピックアップ保護用カバーが取付けてあります。
取り付けたままで電源を入れると機器の破損につながります。
電源を入れる前に必ず取り外してください。</td></tr>
<tr><td>電源起動時には主電源スイッチをONにしてください。
主電源スイッチがOFFになっているとすべての操作は受け付けません。</td></tr>
<tr><td>各種メディアを
再生する前に…</td><td>市販のDVD/CDディスク以外のレコーダーやパソコンなどで作成したデータの再生についてご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐に渡るため、本書に記載された対応形式であっても再生できない場合もあります。
デジタル放送を録画したCPRMディスクはVRモードのみ対応可能です。
CPRMディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。
※ブルーレイディスクは再生できません。</td></tr>
</table>

目　次

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用していただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。本取扱説明書の最終ページに製品保証書が付いております。本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。

●本体(DVD側)×1
●本体モニター側) X1
●車載用バッグ(DVD側用) ×1
●車載用バッグ(モニター側用) ×1
●車載用シガー電源アダプター ×1
●家庭用AC電源アダプター ×1
●専用接続ケーブル ×1
●リモコン ×1
●単4形乾電池 x2
●取扱説明書 ×1

使用上の注意

●本製品の家庭用AC電源アダプター／シガー電源アダプターの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください。

●クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。

●長期間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。

●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。

静電気の多い場所やほこりの多い場所、雨の中や風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所でのご使用はおやめください。また、濡れた手で操作をしないでください。
ショートによる故障や感電の原因となります。

●分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。

●落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えたりしないでください。

●本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源のアダプターをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
※お問い合わせ先は本書巻末、及び保証書に記載してあります。

●USB端子を搭載しておりますが、ストレージ以外の製品(通信用装置など)を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USBからの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。

●液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。

●小さなお子様がご使用される場合には本製品の取扱を十分に理解した大人の監視、指導のもとでご使用願います。

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
⚠危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
⚠警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
⚠注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	“ ⃠ ” は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	“ ● ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	“△”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常を感じたとき

⚠警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサービスセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店またはサービスセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店にまたはサービスセンター交換をご依頼ください。

使用するとき

●修理・分解・改造しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れないこと

異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと

接触禁止

感電の原因となります。

●水に濡らしたりしないこと

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないようご注意ください。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●飛行機内で使用の際は、航空会社の指示に従うこと

指示

航空法で、離着陸時に使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運航装置に影響を与え事故につながる恐れがあります。

●ディスク用のピックアップに眼を近づけたりレーザー光を見ないこと

禁止

レーザー光は見られないようになっていますが、万が一故障や異常によってレーザー光が発光された場合に見つめたりすると視力障害の原因となります。

●歩行中や乗り物を運転しながらの使用はしないこと

禁止

交通事故の原因となります。

⚠注意

●変形、ひび割れ、接着剤で補修、シール等貼付けのディスクは使用しないこと

禁止

ディスクは高速回転します。飛び散ってけがや故障の原因となります。

●ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと

禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

●ディスクが回っているときにディスクには触れないこと

禁止

けがや故障の原因となります。

●電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること

指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと

禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

設置するとき

⚠警告

●屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所のは設置しないこと

禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど上に肌にふれないないこと

禁止

低温やけどの原因となります。
（低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。）

⚠注意

●温度の高い場所に置かないこと

禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります・

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しないこと

禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、電源アダプターやその他接続線をはずすこと

指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

ACアダプター/シガーアダプターについて

警告

●ACアダプター/シガーアダプターを分解、改造、修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。

● ACアダプター/シガーアダプターは付属のものを使用すること

禁止

指定以外のACアダプター、シガーアダプターを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

●アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと

指示

火災・感電の原因となります。

●シガーアダプターはDC12V専用です。電源変換器は使用しないこと

禁止

電圧変換器(DC−DCコンバータ)を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること

指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

注意

●ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと

指示

感電の原因となります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと

指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと

プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと

禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと

指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

使用上のお願い

取扱いについて

●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●ふだん使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。
●長期間使用しないときに機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

置き場所ついて

●本機の内部に熱がこもるため、布団やじゅうたん、カーペット、座布団など熱を逃がしにくいものの上に置いて長時間使用しないでください。
●車内に設置する場合は、不安定な場所や傾いている所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
　ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対に使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

レーザー製品について

●本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店にご依頼ください。
●本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
●本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

結露(露付き)について

結露(露付き)とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを"結露(露付き)"といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

●結露に注意する

・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
・夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高い場所に移動したとき
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する

　結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

DVDやCD及び各種メディア再生について

●ピックアップのヘッド(ディスクを読み取るレンズ)には触れないでください。

●ディスクトレイにはDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。また、USBスロットとSDスロットに異物を挿入しないでください。

●ディスクをセットする時は1枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。

●CD−R/RW、DVD−R/RW及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。

●本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。

●大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。

●本機で再生できるCPRMディスクはVRモードのみです。

●デジタル放送を録画したVRモード･CPRMのディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。

●USB端子に接続できるのはUSBメモリストレージです。通信機器などPCで使用するデバイスには対応しておりません。

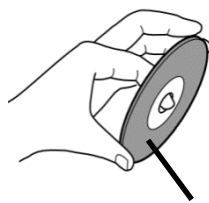
ディスクの取り扱いについて

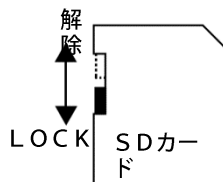
●ディスクを持つ時は、図のように記録部分には触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。指紋、ホコリ、傷等によりディスクの読み込みできない場合があります。

●ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。

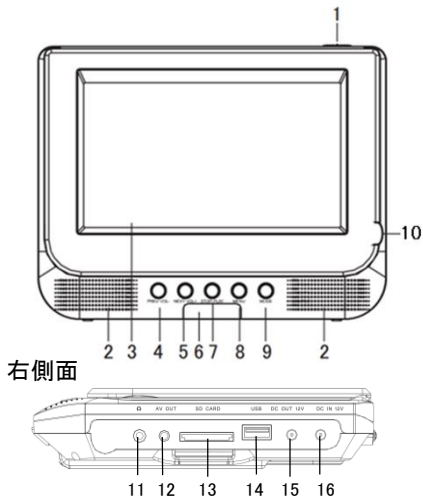
●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

●ディスクを曲げたり落としたりしないでください。

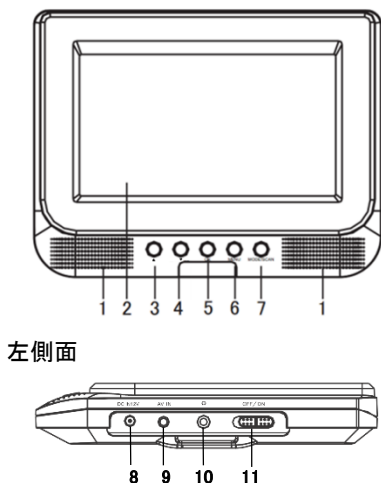
●ディスクについた指紋やほこりなどの汚れは、柔らかい布でディスクの中心から外周に向かって軽く拭きとってください。

メモリーカードについて

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
　対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●メモリーカードの取扱い方については、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
●メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
●ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
●本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
●メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。
●大切なデータを誤って消去しないために、
　カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

1.本体･リモコン各部名称･機能

本体の各部名称･機能

パネルの名称1（DVD側）

右側面

1. 電源スイッチ（ON/OFF）
2. 内蔵スピーカー X2
3. 液晶画面
4. スキップ-/音量-ボタン（PREV/VOL-）
5. スキップ+/音量+ボタン（NEXT/VOL+）
6. リモコン受光部と点灯表示
7. 一時停止/再生ボタン（STOP/PLAY）
8. メニューボタン（MENU）
9. モード切替ボタン（MODE）
10. オープンレバー
11. ステレオイヤホン端子（φ3.5mm）
12. AV出力端子（AV OUT）
13. SDカード差込口（SD CARD）
14. USBT端子（USB）
15. DC出力端子（DC 12V）
16. DC入力端子（DC 12V）

パネルの名称2（モニター側）

左側面

1. 内蔵スピーカー X2
2. 液晶画面
3. ▲ボタン
4. ▼ボタン
5. SETUP
6. 音量-ボタン（VOL-／◀）
7. 音量+ボタン（VOL+／▶）
8. DC入力端子（DC 12V）
9. AV入力端子（AV IN）
10. ステレオイヤホン端子（φ3.5mm）
11. 電源スイッチ（OFF⇔ON）

※イラスト、画像が実物と
　異なる場合があります。

本体の各部名称・機能（DVD側①）

No.	名称	表示	機能
1	電源スイッチ	ON/OFF	本体電源のON/OFFの切替をします。 ・本体の電源をOFFにすると、リモコンはON/OFFできません。リモコン使用時は必ず電源をONにしてください。
2	内蔵スピーカー	/	スピーカー　×２
3	液晶画面	/	7インチ液晶画面。
4	スキップ－/音量－	PREV/ VOL－	・短い時間押すと、前のキャプチャーまたはトラックにスキップします。 ・長い時間押すと、音量が下がります。 （DVD側、モニター側とも音量が下がります。）
5	スキップ+/音量+	NEXT/ VOL+	・短い時間押すと、次のキャプチャーまたはトラックにスキップします。 ・長い時間押すと、音量が上がります。 （DVD側、モニター側とも音量が上がります。）
6	リモコン受光部と 点灯表示	―	・リモコン受光部。 ・電源の点灯表示。
7	一時停止/再生	STOP/ PLAY	再生/一時停止：ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
8	メニュー	MENU	ボタンを押すことによりブライトネス、コントラスト、色合い、飽和度、リセットが表示されPREV/NEXTボタンで選択できます。 STOP/PLAYボタンで決定です。
9	モード	MODE	DVD/USBメモリ/SDカード切換の選択ができます。
10	オープンレバー	／	ディスク入れ替え時にここを開きます。
11	ステレオイヤホン 端子	🎧	Φ3.5mmのステレオイヤホンジャック用端子（差込み時、製品から音声は出ません）
12	AV出力端子	AV　OUT	付属接続ケーブルでDVD側のAV OUTとモニター側のAV-INと接続します。
13	SDカード差込口	SD/MMC	再生用のソースが入ったSDカードを挿入します。
14	USB端子	USB	再生用のソースが入ったUSBメモリーを挿入します。

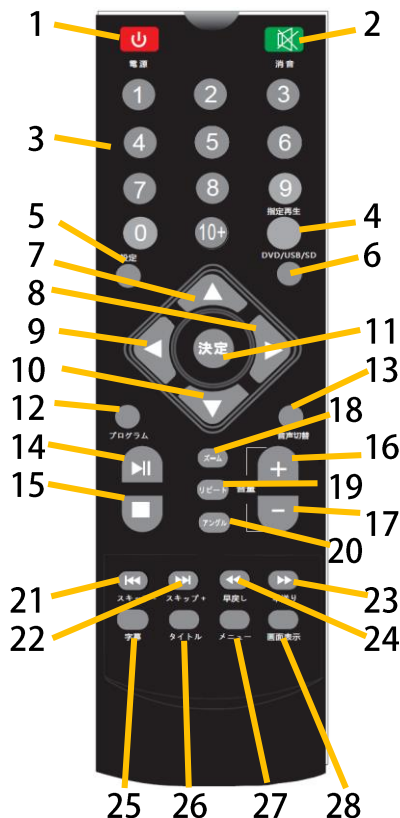
本体の各部名称・機能（DVD側②）

No.	名称	表示	機能
15	DC出力端子(DC12V)	DC OUT 12V	付属の電源アダプターを接続します。 ※12Vで動作可です。
16	DC入力端子(DC12V)	DC IN 12V	付属接続コードでモニター側に電源を供給します。

本体の各部名称・機能（モニター側①）

No.	名称	表示	機能
1	内蔵スピーカー	—	スピーカー　×2
2	液晶画面	—	7インチ液晶画面
3	▲（上）ボタン	▲	メニュー等の画面で上を選択する。
4	▼（下）ボタン	▼	メニュー等の画面で下を選択する。
5	SETUP	SETUP	ボタンを押すと設定メニュー画面を表示します。
6	音量－／◀ ボタン	VOL-／◀	モニター側の音量のみ下がります。
7	音量＋／▶ ボタン	VOL+／▶	モニター側の音量のみ上がります。 （DVD側で音量を下げてあると、このボタンでは大きくなりません）
8	DC入力端子（DC12V）	DC IN 12V	付属接続コードでDVD側から電源を供給を受けます。
9	AV入力端子	AV　IN	付属接続ケーブルでモニター側のAV-INとDVD側のAV OUTと接続します。
10	ステレオイヤホン端子	🎧	Φ3.5mmのステレオイヤホンジャック用端子（差込み時、製品から音声は出ません）
11	電源スイッチ	ON/OFF	モニター側の電源のON⇔OFFの切替をします。

リモコンの各部名称・機能

リモコンの各部の名称

リモコンの名称

1.電源ボタン（ ⏻ ）:DVD側のみオン／オフ
2.消音ボタン（ 🔇 ）
3. 数字ボタン（1～9、0、10+）
4.指定再生ボタン
5.設定
6.DVD/USB/SD ボタン
7.上ボタン（▲）
8.右ボタン（▶）
9.左ボタン（◀）
10.下ボタン（▼）
11.決定ボタン
12.プログラム ボタン
13. 音声切替　ボタン
14.再生/一時停止（ ▶‖ ）
15.停止ボタン　（ ■ ）
16.音量を上げる（ ＋ ）
17.音量を下げる（ － ）
18.ズーム ボタン
19.リピート ボタン
20.アングル ボタン
※DVDの映像に複数のアングルがある場合にのみ機能します。
21.スキップ ボタン（ 前画面へ |◀◀ ）
22.スキップ ボタン（ 次画面へ ▶▶| ）
23. 早戻し ボタン（ ◀◀ ）
24. 早送り ボタン（ ▶▶ ）
25.字幕 ボタン
26 タイトル ボタン
27. メニュー ボタン
28. 画面表示 ボタン

※イラスト、画像が実物と
異なる場合があります。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
1	電源ボタン		DVD側電源のみON/OFF切替をします。 ＊本体の電源をOFFにすると、リモコンでは電源のON/OFFできません。 リモコン使用時は必ず本体の電源をONにしてご使用ください。
2	消音ボタン		一時的に音が消えます。もう一度押すと音が出ます。 ＊電源ボタンをOFFするとMUTE設定は解除されます。
3	数字ボタン	1～9、 0、 10+	数字を入力するときに使います。 （トラックやチャプター、チャンネル選択等）
4	指定再生	指定 再生	ディスク使用時に、チャプター指定再生／タイトル内時間指定再生／チャプター内指定再生が選択できます。 **チャプター指定再生**：再生中のタイトルの中のチャプターを指定再生します。 **タイトル内時間指定再生**：再生中のタイトル内の時間指定を数字ボタンにより指定し再生します。 **チャプター内指定再生**：再生中のチャプター内の時間指定再生を数字ボタンにより指定再生します。 ＊ディスクにより設定内容が変わりますので、画面の設定に従って入力してください。
5	設定	設定	DVD／AV IN 使用時 基本設定、デジタル設定、映像設定、選択設定をおこないます。 方向ボタン（ ◀▶）で選択し、方向ボタン（▼▲）で下位メニューを選びます。
6	DVD/USB/SD	DVD/ USB/ SD	ボタンを押すと、DVD、USB、SDの切換ができます。ボタンを押すより、DVD/USB/SDを選択します。認識されたMEDIA名が表示され、認識されない場合は元の画面に戻ります。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
7	上ボタン	▲	方向ボタンでメニュー項目の移動をします。 ◀▶ボタンで音量変更ができます。
8	右ボタン	▶	
9	左ボタン	◀	
10	下ボタン	▼	
11	決定	決定	メニュー項目などの決定して実行します。
12	プログラム	プログラム	DVDモードでお好みのトラック、チャプタを入力することによりご指定の順にプログラム再生します。
13	音声切替	音声 切替	ディスク内の切替可能な音声を選択します。（ディスクによって異なります）
14	再生／一時停止	▶‖	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどのその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
15	停止ボタン	■	再生中に一回押すと一時停止します。二回押すとスタート位置に戻り停止します。
16	音量＋	＋	音量＋ボタンを押すと音量が上がります。
17	音量－	－	音量一ボタンを押すと音量が下がります。
18	ズーム	ズーム	ボタンを押すことにより動画シーンをズームイン（拡大）／ズームアウト（縮小）することが出来ます。ズームイン/ズームアウト可能な倍数は2x、3x、4x、1/2、1/3、1/4です。ズームインしたときに上下左右ボタン（▼▲◀▶ ）で画面が移動できます。 Note：この機能はDVD、VCDに適応します。
19	リピート	リピート	ボタンを押すことにより繰り返しモードになります。 DVD（チャプター→タイトル→オール） CD（トラック→オール） Note：PBC機能が有効の場合この機能は無効になります。 ＊本体、リモコン電源ボタンをオフするとリピートは解除されます
20	アングル	アングル	ボタンを押すと視野角度が上下120度、左右140度内に変更されます。 ※この機能は複数のカメラアングルでエンコードされたディスクにのみ対応。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
21	スキップ	|◀◀	前のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
22	スキップ	▶▶|	次のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
23	早戻し	◀◀	早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
24	早送り	▶▶	早送り再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
25	字幕	字幕	※DVD使用時 この設定をONにすると、ディスクに字幕情報が含まれている場合に字幕を画面上に表示します。 この機能は字幕情報付DVDに対応します。 ※TV使用時 ボタンを押す度に字幕のオンオフが切り替わります。 この機能は字幕対応放送に対応します。
26	タイトル	タイトル	DVD再生中にボタンを押すと再生画面にタイトル（ルート）メニューが出てきます。方向ボタン（▲▼）でご希望のメニューを選択してください。タイトルメニューはDVDにより内容が違います。方向ボタン（◀▶　で選択し決定ボタンを押すと次画面に変わります。PBC機能はコード化されている再生ディスクの場合のみPBCメニューを表示します。もう一度押すとPBCは機能しなくなります。 Note：DVD、VCD1.1、CD-DAとMP3にはPBC機能はありません。
27	字幕	字幕	※DVD使用時 この設定をONにすると、ディスクに字幕情報が含まれている場合に字幕を画面上に表示します。 この機能は字幕情報付DVDに対応します。 ※TV使用時 ボタンを押す度に字幕のオンオフが切り替わります。 この機能は字幕対応放送に対応します。
28	画面表示	画面 表示	タイトル・チャプターの再生経過時間を表示します。画面オフを選択すると経過時間の表示はオフになります。 （タイトル経過時間→タイトル残り時間→チャプター経過時間→チャプター残り時間→画面表示オフ）

2. リモコン・本体の準備及び接続

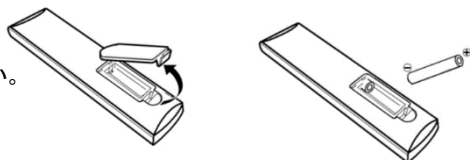
リモコンの準備

①リモコンのふたを外す。

②乾電池をいれる。

・単4形乾電池を使用します。

・乾電池は一側から縦に2本挿入してください。

③リモコンのふたを閉める。

［注意］：リモコン電池について

※リモコンの電池は、単4形乾電池（2本使用）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。

※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。

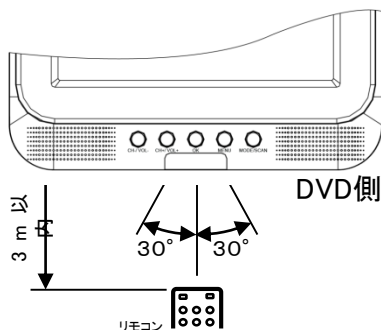
リモコンの操作範囲（DVD側のみ）

画面に対し垂直に向けて操作してください。

距離：リモコン受光部から

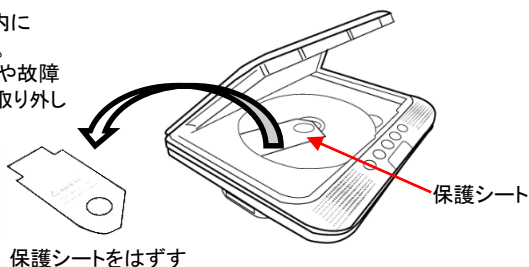
約 3m以内

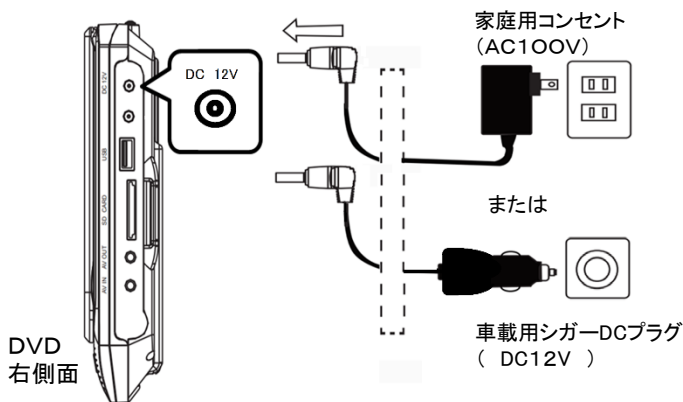
角度：リモコン受光部から

上下左右約 30° 以内

DVD側本体 −保護シートの取り外し

出荷時の状態では、ディスクトレイ内に輸送保護用のシートがついています。そのまま電源を入れると機器の破損や故障につながります。電源投入前に必ず取り外してください。

保護シート

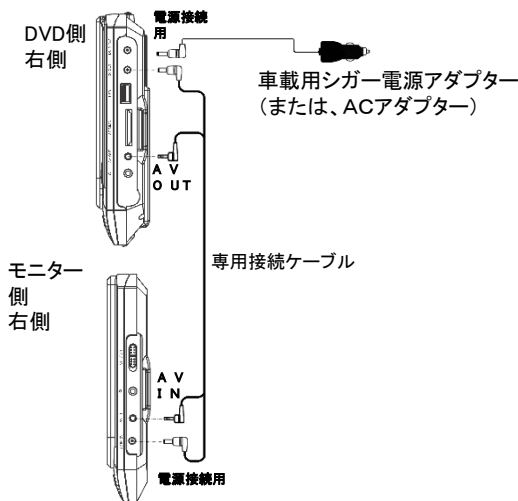
保護シートをはずす

電源の接続

DVDの本体側面の電源入力(DC IN)に付属のACアダプターもしくは車載用DCシガーアダプターを接続して家庭用コンセントもしくはお車のシガーソケットに接続します。

※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ずDVD側とTV側から電源アダプターを取り外してください。

モニター側とDVD側の接続

接続を始める前に、お車のイグニッションキーをOFFにして、シガーソケットの電源を切ってください。

・専用接続ケーブルをDVD側のAV OUTとモニター側のAV INに接続してください。

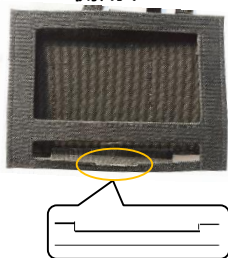
接続を確認してから、お車のイグニッションキーをONにしてDVD側とTV側の電源スイッチを入れてください。

車への取付方法

車載で楽しみたい場合は、DVD本体とモニター本体を付属の車載バッグに入れてからヘッドレストに取り付けます。

※取付イメージ写真

●お車への取付方法

①付属の車載ケースに本体を収納してマジックテープに止めます。

DVD側とモニター側で形状が違います。
※DVD側には、切込みがあります。
逆に入れると、リモコンが動作しないことがあります。

DVD側用ケース

切り込みあり

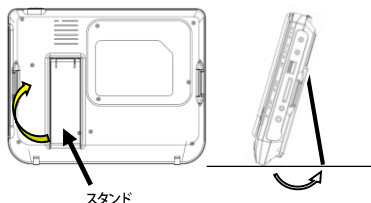
モニター側用ケース

切り込み無

バッグの上から本体を入れて、固定ベルトで固定します。
次に2本のバックル付きベルトでヘッドレストに巻くように取り付けます。

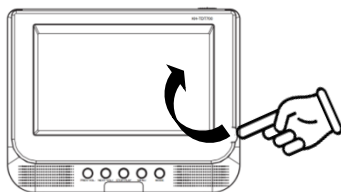
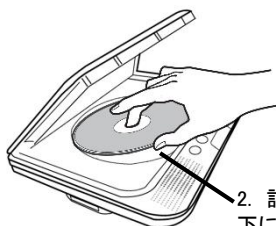
※ケースでリモコン受光部が隠れないことを確認してください。
※ケースでコードが無理に挟まれていないか確認してください。

スタンドによる設置方法

DVD側の裏にスタンドがついています。
スタンドを手前に引くように開き、水平面に設置してください。
※必ず水平面に設置してください。
不安定な場所で使用されると倒れて破損やけがの原因になります。

3. DVDモードで再生（DVD側のみ）
（DVD／SDカード／USBメモリー）

すべての接続を確認してください。電源スイッチのスイッチを入れて再生してみましょう。

■ディスク(DVD／CD）を入れる

1..オープンレバーを手前に引き、ディスクカバーを開けて下さい。
画面に “ 開く ” と表示されます。
2.ディスクをターンテーブルにはめ込む。（カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。）
3.ディスクカバーを閉めると画面上に“ロード（読込み中）”と表示され自動的に再生が始まります。

1. オープンレバーを上の方向に開けてください。

2. 記録面(鏡面)を下に、カチッと音がするまではめ込む。

⚠ 注意

・ディスクはめ込み時レンズ部に触れない
故障の原因になります。
・回転中にディスクに触れない
けがや故障の原因になります
・パネルを閉めるとき手をはさまない
指や手をはさみけがの原因になります
・パネルを無理にあけない
無理に開けると故障の原因になります
・変形、ひび割れ、接着剤などでの補修、シールやフィルムなどの貼りもののあるディスクは使用しない
故障の原因になります。
・本製品で再生出来ないディスクやディスク以外の異物は入れない
故障の原因になります。
・再生中に本製品を傾けたり揺らしたり移動させたりしない
故障の原因になります。悪路を走行中はディスクを停止させてください。
・長時間再生直後は、内部は触れない
内部が熱くなることがありますのでディスクの取り出しには注意してください。

■ディスク(DVD／CD)を再生させる。

電源の接続、ディスクの挿入の確認をしてください。

①本製品の電源を入れます。
②ディスクが入っている場合には、ディスクを優先して自動再生します。
ディスクが入っておらずSDカード／USBメモリーが装着されていた場合には、
ディスクを入れ、「DVD/USB/SD」切換ボタンで「DVD」に切り替えると、ディスクが
自動再生します。
③DVDディスクやビデオCDを再生するとディスクプログラムのメニュー画面が表示されます。
▲▼◀▶ボタンでメニュー内容に従って再生をお楽しみください。

■SDカード／USBメモリーを再生させる。

パソコンなどで書き込んだ、市販のSDカードやUSBメモリーの動画や音楽を再生することができます。

①本製品の右側面にあるSDカードおよびUSBの挿入口に動画又は音楽の入ったSDカードもしくはUSBメモリーを挿入します。
②本製品の電源を入れます。
③DVDディスクが本体内に入っていた場合には、DVD再生中に「DVD/USB/SD」ボタンを押します。
④USBメモリーまたはSDカードが検出されると、「検索中」と表示後、USBまたはSDの中のフォルダやファイルが表示されます。
⑤再生したいデータを▲▼ ◀ ▶ボタンで選択し、「決定」ボタンを押します。
⑥画面の内容に従って再生をお楽しみください。

■再生可能な条件

本製品の再生可能なデータ形式は下記のとおりです。条件に従って記録してください。記録方法は、レコーダーやパソコンなどの記録機器の取扱説明書をごらんください。

動画、音楽、写真の再生可能な詳細条件：

	再生可能データフォーマット	画素(RGB)	ビットレート(kb/s)	フレームレート
動画	AVI	720×576 以下	64kb/s	23fps
音楽	MP3		224kb/s以下	
	WMA		159kb/s	
写真	JPEG	6000×3900 以下		

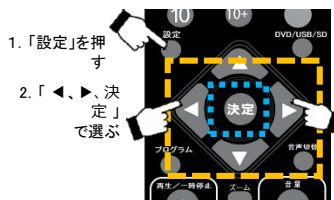
※一般的にCDやDVD（市販されているもの）以外の音楽、動画データについては、本機で再生出来ない場合がありますので予めご了承いただきます。
※本機で再生可能な動画データは標準画質（SD）までです。HD画質の動画は再生出来ませんので予めご了承下さい。

■設定ボタンの説明(DVD側のみ)

各モードで再生時、設定ボタンでさまざまな再生設定、機能でお楽しみいただけます。

1. リモコンの「設定」ボタンを押すと各々の設定メニュー画面が表示されます。
2. 方向ボタン(◀又は▶)を押して

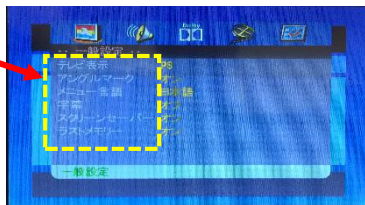
(1)一般設定
(2)スピーカー設定
(3)画質設定
(4)その他の設定 (再生中は表示しません)

のページを選び決定ボタンで決定します。
(◀)ボタンで前の設定画面に戻すことができます。

3. 次に(▼又は▲)ボタンで上下移動しメニューを選び、決定ボタンを押します。
4. 決定したメニューからサブメニューの選択内容を▼又は▲ ボタンで選択し決定ボタンを押します。(◀)ボタンで前メニューに戻ります。
   設定メニューを終了するには設定ボタンを押します。

(1)一般設定

「基本設定」では

①テレビ表示
②アングルマーク
③メニュー言語
④字幕
⑤スクリーンセーバー
⑥ラストメモリー

の設定ができます。

①テレビ表示・・・PS/LB/ワイド

画面の表示サイズを変更します。
設定後、ディスクを入れてください。

・**標準 PS (パンスキャン)**:通常のテレビ(4:3)に接続した場合、ワイド画面(16:9)イメージは縦いっぱいに表示され左右の一部がカットされて再生します。

・**標準 LB (レターボックス)**:通常のテレビ(4:3)に接続した場合、ワイド画面(16:9)イメージは上下に帯が入って再生されます。

・**ワイド(16:9)**:ワイドテレビ(16:9)に接続した場合、ワイド画面(16:9)のディスクを再生した場合フル画面で再生します。水平方向にすべて画面が収まるように伸縮されて表示されます。

メディアファイルによっては画面サイズの変更ができない場合があります。

②アングルマーク・・・オン(入)/オフ(切)

複数のカメラアングルの映像が組み込まれているマルチアングル付きDVDのアングル選択ができます。

この機能はマルチアングルで作成されたDVDにのみ対応します

③メニュー言語･･･英語／日本語の切換
設定のページ画面に表示される言語の設定をします。

④字幕･･･オン（入）／オフ（切）
画面上の画像が静止したまま、例えば、ディスクを数分間PAUSE 、STOPなどしたとき画面にスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示中、いずれかの操作ボタンを押すと元の状態に戻ります。

⑤スクリーンセーバー･･･オン（入）／オフ（切）
スクリーンセーバー機能をオンにすると、しばらくが画面を操作しないときに画面を暗くし
スクリーンセーバーが働きます。

⑥ラストメモリー･･･オン（入）／オフ（切）
この機能をオンにしたとき、本機が再生中ディスク扉を開いたり、又はディスクを停止した場合、最後に再生していた部分を記憶しておく機能。ディスクを再生するときに記憶された箇所から再生が始まります。他のディスクを読み込むとメモリーは消えます。

（2）スピーカー設定

①ダウンミックス･･･「Lt／Rt」 ／「 ステレオ」
Lt/Rt ：サラウンド音源の合成して左右の音源にします。

ステレオ（Str）：元の左右の音源を出します。サラウンド音源の場合、前左右の音源を出します。

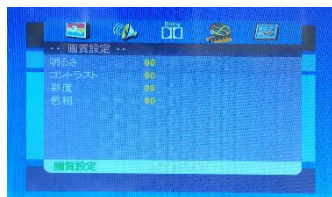
（3）画質設定

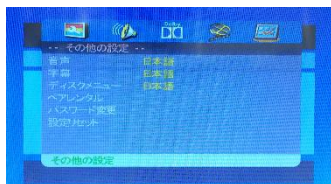
画質の　明るさ/コントラスト/彩度/色相　調整ができます。

①明るさ･･･（－20～＋20）
画質の明るさを調整します。

②コントラスト･･･（－16～＋16）
画質のコントラスト調整を調整します。
（ソフトな画像からシャープな画像に調整できます。）

③彩度･･･（－9～＋9）
画質の彩度（鮮やかさ）を調整します。

④色相･･････（－9～＋9）
画質の色相（色合い）を調整します。

（4）その他の設定

その他の調整　音声/字幕/ディスクニュー/
ペアレンタル/パスワード　調整ができます。
（ディスクにより背帝ができない場合があります。）

※再生中はこの設定はできません。
完全に停止して操作してください。

①音声・・・英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本、韓国語、ロシア語、タイ語
ディスクに指定言語がない場合に、この音声設定が有効になります。
音声の言語を切り替えをします。

②字幕・・・英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本、韓国語、ロシア語、タイ語
ディスクに指定言語がない場合に、この音声設定が有効になります。
字幕の言語を切り替えをします

③ディスクメニュー・・・英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本、韓国語、ロシア語、タイ語
ディスクに指定言語がない場合に、この音声設定が有効になります。
ディスクメニューの言語を切り替えます。

④ペアレンタル（パレンタル）視聴制限機能・・・KID SAFE、G、PG、PG13、PGR、R、NC17、ADULT
暴力画面などを含むDVDディスクには視聴する人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。適切な制限レベルは実際にお客様ご自身で動作させてご確認ください。
制限レベル（KID SAFE、G、PG、PG13、PGR、R、NC17、アダルト）

⑤パスワード設定…
この項目でパスワードを変更することができます。（初期設定のパスワードは**3308**です。）
新しいパスワードに変更する前旧パスワードを正しく入力する必要があります。
※パスワードを変更しても初期設定パスワード(**3308**）は常に有効です。

⑥設定リセット
工場出荷時の初期設定に戻します。視聴制限のパスワードは初期化されませんので
ご注意ください。

5.主な仕様

品　　番	EB-RM707T
品　　名	7インチツインモニターDVDプレーヤー
液晶サイズ	7インチTFT　LCD(16:9)
画　　質	800x480ピクセル
視野角度	上下120度　左右140度
カラーシステム	PAL/NTSC自動切換
再生可能メディア	12cm　CD/CD-R　12cmDVD-R/DVD-RW/ SDカード(16GB)/USBフラッシュメモリ(16GB)
再生可能 データフォーマット	VCD/CD/DVD/DVD-R (VRモード・CPRM記録ディスクを含む)/ 等に対応
映像入出力	CVBS、1Vp-p　75Ω
音声入出力	1.4Vrms/10kΩ
使用電源	AC100～240V(AC電源アダプター) DC12V(シガー電源アダプター)
使用温度	0～40℃
保存温度	-10～60℃
消費電力	DVD側:10W、モニター側:6W
外形寸法	DVD側:約W210×H165×D39(mm) モニター側:約W210×H165×D28(mm)
本体質量	DVD側:約560g　　モニター側:約310g

再生メディアに関するご注意！

DVD-R
本機はビデオモード又はCPRM方式で記録し、且つファイナライズ処理されたものに関して再生が可能です。双方とも記録状況によっては再生出来ない場合があります。

CD-R
本機の対応フォーマットで記録され、記録終了時にセッションクローズ又はファイナライズされた音楽用CD-R再生に対応しています。双方とも記録状況によっては再生出来ない場合があります。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

5.困ったときは　（故障かな？と思ったら）

保守サービスを利用する前に、もう一度次の項目をご確認ください。

症状	処置
音がでない	本体のVOL+（長押し）またはリモコンの音量+を押して下さい。 モニター側でVOL+を押しても音が出ない場合は、モニター側のVOLを大きくした後リモコンの音量を上げてください。
キー操作ができない	別の動作中は操作は受け付けない場合があります。動作処理終了後再度操作してください。 また、ディスクによっては特定の操作を禁止している場合があります。故障ではありません。
アイコン ⊘ がスクリーン上に表示される。	下記の場合、機能が実行されません。 原因： １.ディスクのソフトウェアが制限している場合。 ２.ディスクのソフトウェアがその機能をサポートしていない場合。 ３.ディスクサーチ中などの動作中は利用できない場合。
画像が乱れる	ディスクが破損していることがありますので別のディスクを試してください。 早送り/早戻し時、多少乱れが出ることがありますが、これは故障ではありません。
フォワードとリバースでスキャンが出来ない	一部のディスクセクションでは、クイックスキャン、またはタイトルとチャプターのスキップを禁止していることがあります。 また、動画冒頭の警告情報やクレジットをスキップしようとする場合、常にスキップすることを禁止するようにプログラムされています。
本体にUSBメモリーやSDカードを挿入するとクラッシュする。 （認識出来なくなる）	挿入されたUSBメモリーやSDカードが 正規バージョンでない可能性があります。 正規品をお使いいただくようお勧めします。 本機がクラッシュを起こした場合は、 電源を切り電源コードを抜いて下さい。 再び電源コードを差し電源を入れて下さい。 正常な状態に立ち上がります。

保証書

本保証書は製品ご購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無料修理する事をお約束するものです。修理は必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

【無料修理規定】

1. 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合に限り無料にて修理させていただきます。
   - ●無料修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。
   - ●ご購入の販売店にご依頼にならない場合は、**サポートセンター**にご相談ください。
2. 保証期間内でも次のような場合には有償になります。
   - ●使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - ●火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源（電圧、周波数）、などによる故障及び損傷。
   - ●ご購入後の移動、落下あるいは輸送などによる故障及び損傷。
   - ●本保証書のご提示がない場合。
   - ●本保証書にご購入年月日、お客様名、ご購入販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ●消耗品、付属品などを他社製品と交換することによる故障及び損傷。
   - ●液晶の損傷。
3. 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証は致しません。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
6. データの取り扱いについて
   - ●修理依頼品に装着したお客様のディスクやメモリーなど記録媒体で不具合確認する場合、記録されたデータ（お客様が録音・録画した音楽・映像データ、各種設定内容等を含む）を必要に応じ修理過程で閲覧・実行する場合がありますが、修理目的以外に使用いたしません。
   - ●本修理サービスにおきまして、当社は記録データについての複製、バックアップ、復元作業等は一切行いませんので、ご了承願います。
   - ●修理のために必要と判断した場合、修理依頼品の設定を初期化、工場出荷状態に戻す等の作業を行わせていただきます。その際にお客様が登録した設定等は失われます。
   - ●修理等の作業にあたっては細心の注意を払いますが、前項以外の場合であっても作業の過程で記録データの破損・消失等が生じる場合があります。当社は、記録データの破損・消失等についての責任は負いかねますので、ご了承願います。

※修理の際に大切な記録データ（音楽・映像など）などは必ずバックアップをおとりください。

- ●修理等の作業にあたって部品交換した場合は、交換した部品は株式会社イーバランスの所有物として回収させていただき、返却は致しかねますのでご了承願います。

商品の修理、検査依頼、万が一の初期不良、不具合、商品説明、操作方法、 荷物確認などの問題が発生した場合は下記番号へ

サポートセンター

サポートダイヤル：042−631−5357

FAX：042−631−5359

住所：〒192−0906　東京都八王子市北野町598−11

営業時間：平日10：00〜17：00（土日祝祭日は休み）

電話集中している場合は、通話が繋がりにくい、繋がらない場合もございます。 再度お時間をおいておかけ直しくださいますようお願い致します。